

第 15 回基準諮問会議の審議状況

2012年7月11日、財務会計基準機構（FASF）において第15回基準諮問会議（議長 野崎邦夫 住友化学㈱常務執行役員）を開催し、審議が行われました。それぞれの内容につきましては、財務会計基準機構ホームページ（<https://www.asb.or.jp/>）「議事概要」、「議事要旨」（会員限定）を公開しておりますので、そちらをご覧ください。

（審議事項）

（1）提言するテーマの選定方法について

渡部財務会計基準機構企画室マネージャーより、基準諮問会議から企業会計基準委員会（ASBJ）に提言するテーマの選定方法の変更についての説明がなされ、西川 ASBJ 委員長より補足説明がなされた。その後意見交換が行われ、その結果、事務局で資料を修正し、基準諮問会議委員会の委員が確認することとなった。また、基準諮問会議委員から選任されるテーマ担当の委員の選任は、議長に一任されることとなった。

（2）新規テーマの提案について

基準諮問会議の手塚委員、森委員及び篠原委員より新規テーマとして自己株式を利用した株式給付信託（ESOP）についての提案があり、オブザーバーの日本公認会計士協会常務理事泉本氏より、内容について説明がなされた。その後意見交換が行われ、議長より、本日 ASBJ に提言することは決めず、「提言するテーマの選定方法について」で議論された ASBJ の実務対応専門委員会においてテーマアップすべきかどうかの評価を行い、再度、基準諮問会議で議論することとしてはどうかとの発言があり、了承された。

（3）企業会計基準委員会の最近の活動状況について

都 ASBJ 常勤委員より、ASBJ の最近の活動状況について報告がなされた。また都 ASBJ 常勤委員及び新井 ASBJ 副委員長から審議中の個別プロジェクトの状況として、企業結合と無形資産について説明がなされた。その後、企業結合及び ASBJ の活動状況について委員より意見が出された。